

2020年度オンライン授業アンケート（オンライン授業を受講して良かったと思うこと）

分類A-1 実況と動画の併用	1 実況と動画の併用という方法がわかりやすい授業となっている
	2 知識習得には動画、実験は実況の臨場感が良い
	3 実況、動画ともに残され、事後学修に便利で知識・理解の定着が進む
分類A-2 実況	4 対面が実況や動画より良いという前提で、実況の方が動画より対面に近い 実況による、講義から演習という流れが対面授業に近い
	5 ホワイトボード使用、手書きによる問題解法、p.p資料への書き込みなど、解説、解法に時間をかけることにより理解しやすい
	6 チャット機能、学生へのコメント要求や発問、グループワーク、体験などにより学生の授業へ主体的参加が促されている
	7 学生の質問をすべて聞いたうえで回答し、課題の共有化。ミニレポートに記された質問への回答が早い 授業終了後の質問コーナーで、授業内容以外の質問にも回答
	8 授業のたびに理解度テスト
	9 ゲストスピーカーは対面授業より距離が近く効果が高い
分類A-3 動画	10 授業後にも視聴できる
	11 授業動画が事前にアップされることで学習時間の増加がみられる
	12 事前にテキスト配付され授業での解説動画で定着。事後にも視聴可。繰り返し視聴することで、今までより理解が進む
	13 短い動画で区切りながら授業が進み、理解しやすい
	14 繰り返し視聴できることで、対面授業より自学自習しやすい
分類B-1 資料	15 動画を止めながら見ることができるので、理解しやすい
	16 事前に資料が配付され、授業中に書き込むことで理解が深まる
	17 授業で用いられるp.p資料で復習しやすい
分類B-2 課題	18 オンライン授業ではノートがとりにくいので、まとめプリントが配付され良かった
	19 課題が集中することもあるので、学生の負担過多にならない分量設定を望んでいる 課題提出スパンが長く、課題が重なったとき学生に有利
	20 課題ではなく、毎時間の理解度テストで完結している
分類B-3 寄り添い感	21 課題が多くなる傾向があるなか、授業内で課題が終わるように設定
	22 ホワイトボードを用いて手書きすることによる学生の理解を助ける時間が生まれている 1回の授業で復習、新たな内容、演習という完結性をもたせることにより、学生は学習のペースをつかみやすい
	23 1回の授業の中で内容を短く区分し、区分ごとに質問を入れて定着を図っている
	24 質問へのフィードバックが速い、質問に対して丁寧に回答、コメント。授業終了後の質問コーナーで、授業内容以外の質問にも回答
	25 学生が課題に要した時間などを確認。対面に比べて伝わりにくいという前提で、学生が躓きやすいところを丁寧に解説
	26 授業内容に関わる雑談や豆知識を織り交ぜ、学生の関心と理解を高める
分類B-4 その他	27 学生一人ひとりに語りかけている印象
	28 授業後のアンケートで出た質問を次回に全体で解説し、課題の共有化
	29 先生が話すのではなくPCに語る。特技のイラストを用いるなど学生の関心を高める工夫
	30 動画がアップロードされないという不測の事態にきちんと対応し授業を展開